

社会起業家育成支援非営利組織「アショカ」創設者・最高経営責任者（CEO）
ビル・ドレイトン氏 特別講演

“一人ひとりがチェンジメーカー”という社会を創る

日時	2010年6月6日（日）14:00～15:30（受付13:30～）
会場	関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス（兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155） B号館103号教室
主催	関西学院大学人間福祉学部社会起業学科
対象	中学生・高校生・大学生（中高生は保護者の付き添い可）

参加費無料 定員先着100名（申込制）

- ▶ 申込は info@ssc-kg.com まで
- ▶ 申込時に、氏名（ふりがな）・学校名・学年・連絡先・保護者同伴の有無をメールに記載してください
- ▶ プリントアウトされた受付連絡メールが入場券となりますので、必ず受信可能なメールアドレスでお申込下さい（携帯メールはご遠慮下さい）
- ▶ 誠に勝手ながら、メール以外のお申込はお受けできません
- ▶ 申込時にお送りいただきました個人情報については、管理名簿の作成および当該講演会の連絡の目的にのみ使用します。

講演要旨

アショカの創設者・代表であるビル・ドレイトン氏をお招きし、学生を対象とした講演会を開催いたします。
「社会起業の父」と呼ばれるビル・ドレイトン氏が1980年に立ち上げたアショカは、「一人ひとりがチェンジメーカー」となる社会を創る」という目標、つまり行政や他人任せではなく、市民一人ひとりが社会にある歪みを認識し、その軽減／解決のために行動を起こすという目標を掲げて活動しています。現在、ドレイトン氏はアショカ-ジャパンの設立を進めているのですが、そのアショカ-ジャパンの中心的な活動となるのが「ユース・ベンチャー」という若者プログラムです。

ドレイトン氏は、現在世界で活躍する変革家である社会起業家の多くが子供の頃からその芽を持っていたことに注目し、子どもの変革の能力を後押しして花開かせるための教育システムの必要性を痛感し、1996年に開始したのがこのユース・ベンチャーです。ユース・ベンチャーのプログラムを行っている国としては、日本が18カ国目となります。

本講演会では、アショカの目標や理念とともに、日本でのユース・ベンチャーの可能性についてもお話いただきます。

講師略歴

ニューヨーク生まれ。

ハーバード大、オックスフォード大、イェール大ロースクール修了後、マッキンゼー &カンパニーに入社。

1977年から1981年まで環境保護庁（EPA）で、「排出権取引」など画期的な政策を考案し、このシステムが京都議定書の土台となったことは広く知られている。

1980年に「アショカ」を設立し、世界70カ国以上で2700人の社会起業家を支援しており、このうち50%以上が各国の政策に影響を及ぼすほどの力をもつ。

お問合せは 関西学院大学人間福祉学部社会起業サポートセンター まで
〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町1-155 TEL:0798-54-4897/FAX:0798-54-4898/ info@ssc-kg.com